

「アフリカの真珠」 ウガンダより

2026 年(令和 8 年) 1 月

1 月のカンパラは乾季の真っ只中です。気温もカンパラにしては珍しく 30 度を超える日が続きます。

1 月 15 日、昨年 10 月から選挙活動が行われていた大統領、議会選挙の投票が行われました。長い選挙期間がようやく終わります。地方議会の選挙などは同時期に行われており 2 月まで続きます。

ウガンダでは独立当初は議会が大統領を選出していました。初代首相のミルトン・オボテは選挙により選ばれました。初めて国民の投票による大統領選挙が行われたのは 1980 年のことです。しかしこの選挙は多くの政党によって信任されずその後の長い内戦の契機となりました。

その後再び選挙が行われるようになったのはムセベニ政権下の 1996 年からです。ムセベニ大統領は今回 7 回連続の当選を目指して活発な選挙活動をウガンダ全国で展開してきました。

有権者はウガンダ全国の 18 歳以上の方であらかじめ有権者登録を済ませた方です。今回はウガンダ全国で約 2,100 万人の有権者が登録されています。(注、ウガンダの総人口は約 5,000 万人。)

筆者は以前外務省の担当者として東南アジアのミャンマーの選挙監視をしたことがあります。その時は最大都市ヤンゴン及びその周辺を見回りましたが全土が緊張に包まれていたのをよく覚えています。

15 日、選挙当日の朝カンパラ市内からは人影がほぼ消えていました。これは投票所が基本的に出身地に指定されるため皆地元へ帰っていった影響のようです。

これまでウガンダの選挙は残念ながら選挙活動をしている人と治安当局、あるいは選挙支援者同士の諍いや暴力沙汰が絶えず多くの死傷者を出していました。今回幸いそのような大きな衝突などは影をひそめました。これをウガンダの有権者の成熟だと評価する人もいました。

人影がまばらとなったカンパラ市内はそれに変わり軍や警察などの姿が目立ちました。不測の事態に備えるためです。

今回大使館の館員で投票日当日に複数の投票所を視察しました。筆者も投票日翌日、カンパラ郊外に設営された集計所に足を運びました。

ウガンダの大統領選挙は選挙委員会(Electoral Commission:EC)が実施します。今回の大きな特徴は投票日当日の有権者本人確認のための生体認証システムの導入でした。全国 5 万あまりの投票所に念のため 2 台のシステムを導入して本番に備えましたが残念ながらシステムが作動しない投票所も多かったとのことです。その場合は従来通りのペーパーによる有権者確認を行い投票は概ね円滑に実施されました。



〔選挙ポスター〕



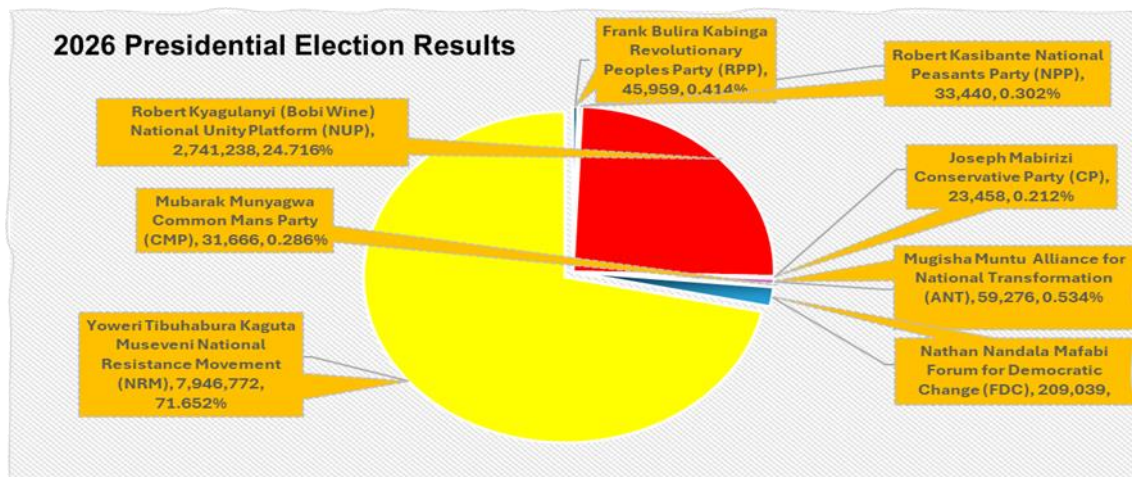
〔集計所〕

投票日の前々日からインターネットが遮断されました。実は前回 5 年前の選挙でもインターネットが遮断され大きな問題となっていました。今回もあえて当局は遮断に踏み切ったようです。多くの国でインターネットが政府によって遮断された場合、抗議活動が行われる例が多いです。しかし、ウガンダではそのような事は起こりませんでした。これは政治活動をしている人たちはある程度予想していたことと、多くの一般国民は不便を感じながらも選挙活動者がお互いに連絡を取って暴力沙汰などを起こすよりは遮断された方が良いと感じたからであるとも言われます。いずれにしても、筆者もインターネットを利用することができず思いがけないデジタルデトックスの期間となりました。ネット遮断は投票日を挟んで 5 日間にも及びました。

選挙当日は午前 7 時から投票が開始され、午後 4 時には終了となります。今回、生体認証のトラブルなどがあった一部投票所では 1 時間投票が延長されました。国会議員を選ぶ選挙も含め直ちに開票作業が始まります。それがカンパラ市街の中継所に伝えられるわけですが、開票状況はテレビでも中継されており刻一刻と投票の結果が入ってきます。ムセベニ大統領は終始リードを続け、今回は前回を上回る 71% の得票率で 7 選を果たしました。

EC発表による選挙結果は以下のとおりです。

(表 1)



(表 2)

| 2026 Presidential Election results |                                   |                                            |            |                  |
|------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------------------------|------------|------------------|
|                                    | Name                              | Party                                      | Score      | Percentage score |
|                                    | Frank Bulira Kabinga              | Revolutionary Peoples Party (RPP)          | 45,959     | 0.41             |
|                                    | Robert Kasibante                  | National Peasants Party (NPP)              | 33,440     | 0.3              |
|                                    | Robert Kyagulanyi (Bobi Wine)     | National Unity Platform (NUP)              | 2,741,238  | 24.72            |
|                                    | Joseph Mbirizi                    | Conservative Party (CP)                    | 23,458     | 0.021            |
|                                    | Mugisha Muntu                     | Alliance for National Transformation (ANT) | 59,276     | 0.53             |
|                                    | Mubarak Munyagwa                  | Common Mans Party (CMP)                    | 31,666     | 0.29             |
|                                    | Nathan Nandala Mafabi             | Forum for Democratic Change (FDC)          | 209,039    | 1.88             |
|                                    | Yoweri Tibuhabura Kaguta Museveni | National Resistance Movement (NRM)         | 7,946,772  | 71.61            |
|                                    | Invalid votes                     |                                            | 275,353    | 2.42             |
|                                    | Total votes                       |                                            | 11,366,201 | 52.5             |
|                                    | Registered voters                 |                                            | 21,649,068 |                  |

なお、今回の選挙結果を受けた大統領の就任式は5月12日に予定されています。それまでは現在の内閣、国会議員が職務を続けます。5月12日以降新しい政府が組織されることになります。

(以上)